YOKOSO みなとまち神戸コンソーシアム

神戸観光シンポジウム「平清盛と KOBE ツーリズム」を開催！

神戸では今、NHK 大河ドラマ「平清盛」を契機として、「清盛ゆかりの地・神戸」を PR して観光集客を活性化する取り組みが、自治体の神戸市や兵庫県、その他民間関係者により活発に行われています。そこで YOKOSO みなとまち神戸コンソーシアムでは、神戸市や神戸商工会議所、神戸夙川学院大学等と共同で、昨年の神戸観光シンポジウムに続く第２弾「平清盛と KOBE ツーリズム」を開催し、１００名以上の参加で盛り上がりました。

＜開催概要＞

日　程：平成２４年３月１３日（火）
場　所：神戸夙川学院大学
主　催：神戸･ﾆｭｰﾂｰﾘｽﾞﾑ事業実行委員会　YOKOSO みなとまち神戸コンソーシアム
　　神戸商工会議所　神戸夙川学院大学　神戸市　国土交通省神戸運輸監理部

あまりよく知られていないようなのですが、平清盛が日宋貿易を始めとする海上交通の拠点として築造した「経ヶ島」や平安京に代わる新たな都として遷都した「福原京」などは、実は現在の神戸に位置していたもので、平家にまつわる史跡等が数多く残っています。

本シンポジウムでは、「平清盛」をキーワードに様々な集客の活動を行っている市内関係者にお集まりいただき、各々の活動事例の共有や今後の取り組みに関する議論を行いました。

市内の観光関係者を中心に１００名以上が集結

取組み事例の発表では、神戸市が中心となって展開している「KOBE de 清盛 2012」キャンペーン、神戸市内の観光関係者が連携して着地型観光に取り組む「神戸・ニューツーリズム事業」、地元神戸の平野商店街が取組む商店活性化の取組み、神戸の大学生が再現した「平安時代の食」、そして当監理部を含む西日本の地方運輸局等５部局が連携した「神戸発・瀬戸内クルーズ」…と、盛りだくさんの発表がありました。

平安時代に使用されていたと考えられる食材・調理法のみを使用した「清盛も食べたか、平安の旨味」シリーズを地元大学生が開発。

パネルディスカッションでは、「みなとまち神戸」の象徴的なものの１つである観光船事業者、そして集客において大きなカギを握る旅行会社の皆さんが、「清盛とクルーズ」をテーマに、大河ドラマの集客への影響やこの機会を活かした今後の神戸の魅力発信のあり方などについて議論しました。

清盛をキッカケに、神戸に魅力という「灯り」を点そう！

神戸の観光船事業者の皆さんは、「平清盛」をフックとした企画の展開を始めたものの、大河ドラマによる集客増の効果はまだあまり感じられていないとの事。神戸は元々おしゃれで異国情緒あふれる観光イメージがあり、平清盛が活躍した中世日本の歴史・文化のイメージと従来イメージの差異から、神戸の観光関係者には戸惑いもある様子です。大河ドラマでは後半から神戸が舞台となるため、地域を挙げたプロモーションのテコ入れが必要である一方、放映終了後の「ポスト清盛」も見据えて、観光都市・神戸のブランド戦略のあり方を考える必要もあり、パネリストのみならず、参加者の皆さんも考えさせられるディスカッションとなりました。

「平清盛」を活かした観光集客の取組みは、広島が先行して観光客や旅行会社の注目を集めているようですが、神戸も負けじと魅力づくりに取り組んでいます。これから後半戦に向けて、地域の関係者がより一層結集して、自身の地域の魅力を自身で掘り出し、磨き上げていく事が求められていると思います。